

広報活動の検討について

バックボードについて

[意見]

- 市と共同で取り組んだプラスチック製レジ袋の提供禁止や、市に対して提言を行っている LGBTQ+の内容(ロゴマーク)などを掲載し、議会として取り組んでいる情報を市民や市外に発信してはどうか。
- 旬な情報を発信する必要があるが、パネルを作成するとなると費用がかかる。
- 今年度は、バックボードを作成する予算も措置されていないので、工夫していく必要がある。
- 京都府議会は、記者会見時、バックボードに写真や文字の紙を貼っている。
- 使用頻度が少ないので、新たに作成するのではなく、安価にできる手法も検討するべき。

[協議結果]

- ・5月30日に開催される広報広聴会議でこの内容を報告し、そこで出た意見をまとめた上で、7月に開催される議会運営委員会に資料として提出する。
- ・資料とする段階では、具体的なデザインを早急に考えていく。

YouTube 配信について

[意見]

- 簡易的ではあるが、業者を通さず YouTube 配信をやっていってはどうか。
- 三脚やマイクなどの付属品は必要であるが、iPad で撮影可能である。
- iPadPro のスペックが高いので、別にパソコンを用意する必要はない。
iMovie を活用して編集することができる。
- 技術的にできるのであれば、YouTube 配信を進めていけばよい。
- 凝ったものでなく、誰もができて、継続していけるものとする必要がある。
- 最初に「日付」「○○○○常任委員会」「議題」「出席委員」「出席理事者」を表示して、後は配信し続ける。
- 不穏当発言以外は編集する必要はない。
- 編集を誰が行うかは、議会運営に関わることなので、議会運営委員会に諮る。(facebook は、副委員長等が編集・掲載している)
- 録画配信とライブ配信の両方を実施するべきではないか。
- 運用規定等については、事務局で整理を行う。
- 令和3年度の検討項目であるため、できるだけ早く取り組むべき。

[協議結果]

- ・5月30日に開催される広報広聴会議でまとめた意見を、7月に開催される議会運営委員会に資料として提出する。
- ・広報広聴としては、できるだけ早く実施したいという方向で提案する。

議会だよりについて

[意見]

- ページの増減、発行回数、オールカラー化について様々な意見がある。
- 内容は、一定のパターン化を行い、QRコードを付けて動画にとぼすなど、工夫を行ってきた。地方議会人の冊子に取り上げてもらうなど、一定の評価を得ている。
- デジタルコンテンツとのコラボレーションを行っていくこと等の方向性を活性化に報告していきたい。
- 広聴活動の際に、市民等に意見を伺ったところ、認識されてない方もいるが、市民の手にとってもらいやすくなっているようである。
- どのように活用していくか。(学校やコンビニへ配布)、各委員から依頼し、社会実験的に各地域で店舗に置いてもらうことなども、検討していく必要がある。
- これからも持続的にどの議員が広報部会委員になっても作業ができるように18期では広報活動の研修を取り入れ、芳野先生に講演にきてもらってもよいのではないかと。